

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人

チャイルドファーストジャパン

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業については、原則として、昨年度の事業内容を継続した。従って、主たる事業は、ケースワーク事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業であった。

2015年2月7日に開所した『子どもの権利擁護センターかながわ』で実施する子どもの権利擁護センター事業を、ケースワーク事業の中心事業の一つに位置づけた。今年度もこれを継続した。

啓発事業のうち、乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業は、昨年度に引き続き、神奈川県の実業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加に努めた。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティーによる RIFCR™ 研修を継続した。

Gundersen National Child Protection Training Center (GNCPTC)が、2014年にChildFirst™をChildFirst®として正式に商標登録したことに基づき、ChildFirst Japanも2014年度にChildFirst™ 司法面接プロトコルをChildFirst® 司法面接プロトコルに改訂し、今年度も司法面接研修を継続した。

また、2015年2月7日に『子ども権利擁護センターかながわ』を開所したことに基づき、それまでは社会福祉法人子どもの虐待防止センター（東京）に協力する形で実施していた虐待被害児診察技術研修を2015年度から当法人の事業としても開始し、今年度も継続した。

なお、これら、ChildFirst Japan 研修事業は、特定非営利活動に係る事業会計と切り離し、ChildFirst Japan 特別会計で管理する。このChildFirst Japan 特別会計は、特定非営利活動に係る事業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型ChildFirst® 司法面接研修とセンター型RIFCR™ 研修およびセンター型虐待被害児診察技術研修を特定非営利活動に係る事業とし、地方自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型ChildFirst® 司法面接研修と出前型RIFCR™ 研修および出前型虐待被害児診察技術研修を収益事業とした。

これによって、収益事業を、一般会計収益事業とChildFirst Japan 特別会計収益事業の二つに分けることとした。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

ア ケースワーク事業

- ・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力する事業だが、令和2年度は行わなかった。
- ・日 時 虐待・ネグレクトの事例が発見され、個別ケース検討会議の必要が生じたと

き

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 各回1～3人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの専門家で当該事例に関わる人、各回3～10人

イ 子どもの権利擁護センター事業

- ・内 容 2015年2月7日に、当法人の事務所の1階に開所した『子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ』を子どものためのワン・ストップ・センターとして機能させ、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子どもたちや犯罪被害に遭った子どもたち、犯罪を目撃した子どもたち等に対して、多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)の枠組みで司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日 時 令和2年 6月24日(水) 午後
令和2年 7月22日(水) 午前
令和2年 7月22日(水) 午後
令和2年11月18日(水) 午後
令和2年11月18日(水) 午後
令和3年 1月 6日(水) 午後
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、原則として1日に1人ずつ

ウ 子どものこころとからだのクリニック事業

- ・内 容 児童精神科診療を開始するに当たって、電子カルテ等の初期投資費用および数ヶ月間の運転資金を、寄附金等によって調達でき次第、『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』(旧『子どもの権利擁護センターかながわ内診察室』)において、虐待・ネグレクトを受けた子どもたちの治療を開始する事業だが、資金調達がかなわず、令和2年度は行わなかった。
- ・日 時 毎週月曜日午前・午後、火曜日午後、水曜日午前、木曜日午後(午前の診療時間は午前10時～午後1時、午後の診療時間は午後2時～午後5時)
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトを受け、治療が必要な子どもたち

②子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

ア 苦情相談

- ・内 容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政への提言を行った。
- ・日 時 通年、週2回(月・水曜日) 午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所

- ・従事者人員 各回2人
- ・対象者 虐待・ネグレクトに関して行政機関を利用した者

③研究・研修事業

ア 研修会

- ・内容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした研修会の開催
- ・日時 第88回 令和2年 9月19日(土)(講師;CFJ理事長 山田 不二子)
第89回 令和2年12月26日(土)(講師;田崎 みどり氏・保志 幸子氏)
第90回 令和3年 2月27日(土)(講師;CFJ理事長 山田 不二子)
- ・場所 神奈川県総合医療会館
- ・従事者人員 約10人
- ・参加者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
各回24名~28名(延べ80名;会員13名、非会員67名、学生0名)

イ 在宅支援技術研修

- ・内容 「子育て世代包括支援センターと地域子ども家庭総合支援拠点」をテーマとして、市区町村職員(児童福祉担当、母子保健担当、障害福祉担当、生活保護担当、DV担当、教育委員会等)民生児童委員、保育士、学校の教職員など、在宅支援にあたる職種間がお互いの役割や活動を相互に理解し、情報共有と連携協働の方法論を学ぶ。
- ・日時 令和2年 9月27日(日)
令和2年12月12日(土)
令和3年 1月 9日(土)
令和3年 3月 6日(土)
- ・場所 神奈川県総合医療会館、ラジオ日本クリエイト
- ・講師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 2人
- ・参加者 18名(正会員3名、賛助会員2名、非会員13名)

ウ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内容 「虐待相談かながわ」の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動ボランティアを養成するための講座だが、令和2年度は新型コロナウイルス対策のため中止した。
- ・日時 令和2年4月~10月(新型コロナウイルス対策のため各講座について開催を中止)
基礎講座 2時間30分×4回(4月23日、30日、5月14日、21日)
講師;理事長 山田 不二子
実践講座 3時間×3回(7月1日、8日、15日)
指導者;この法人の電話相談員6人
応用講座 2時間30分×4回(9月10日、9月17日、10月1日、8日)講師;理事長 山田 不二子

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 1～10人
- ・対 象 者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者

エ 「CACかながわ」ケース・カンファレンス

- ・内 容 「子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ」で実施した司法面接の録画ビデオを使ってピア・レビューを実施し、司法面接者の技術向上を目指す。
- ・日 時 適宜実施することとしているが、令和2年度は実施しなかった。
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従業者人員 4～6人
このうち、理事長 山田 不二子はスーパーバイザー
- ・対 象 者 この法人の「子どもの権利擁護センターかながわ」スタッフと電話相談員

オ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修
- ・日 時 横浜会場（ラジオ日本クリエイティブ会議室、神奈川総合医療会館、スマートレンタルスペース belle 関内）
令和2年4月25日(土)（新型コロナウイルス対策のため中止）
令和2年5月10日(日)（新型コロナウイルス対策のため中止）
令和2年 8月 1日(土) 参加者：28名
令和2年12月19日(土) 参加者：27名
令和3年 2月14日(日) 参加者：28名
令和3年 3月13日(土) 参加者：39名
名古屋会場（ウインクあいち 愛知県産業労働センター）
令和2年 8月 8日(土) 参加者：20名
令和2年 9月 5日(土) 参加者：17名
令和2年11月15日(日) 参加者：34名
令和3年 3月13日(土) 参加者：21名
三重会場（じばさん三重 三重北勢地域地場産業振興センター）
令和2年 7月11日(土)（新型コロナウイルス対策のため中止）
令和2年10月 3日(土) 参加者：37名
大阪会場（エル・おおさか 大阪府立労働センター）
令和3年 2月27日(土) 参加者：35名
令和3年 2月28日(日) 参加者：35名
計11回
- ・場 所 ラジオ日本クリエイティブ、神奈川総合医療会館、スマートレンタルスペース belle 関内、
ウインクあいち 愛知県産業労働センター、
じばさん三重 三重北勢地域地場産業振興センター、
エル・おおさか 大阪府立労働センター
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティ 各回3～4人

- ・対象者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参加者 各回17～39名（延べ321名）

カ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst[®] 司法面接研修

- ・内容 多機関連携チーム(MDT)の枠組みで実施する司法面接（調査・捜査のための聞き取り）の研修。研修プロトコルは、GNCPTC（Gundersen National Child Protection Training Center）が開発した ChildFirst[®] 司法面接プロトコル。
- ・日時 第1回；令和2年 7月15日(水)～19日(日) 参加者：20名
第2回；令和2年 9月 2日(水)～ 6日(日) 参加者：19名
第3回；令和2年10月28日(水)～11月1日(日) 参加者：20名
第4回；令和3年 1月20日(木)～1月24日(日) 参加者：9名
第5回；令和3年 3月17日(木)～21日(日) 参加者：19名
- ・場所 伊勢原市商工会 会議室、アパホテル 会議室、プロミティあつぎ 会議室
子どもの権利擁護センターかながわ2階 研修室および1階 面接室と観察室
- ・講師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ（子どもの司法面接 NCPTC 認定トレーナー）8人
- ・対象者 全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人（延べ80人）
- ・参加者 各回9～20名（延べ87名）

キ センター型虐待被害児診察技術研修

- ・内容 多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官や将来、子どもの権利擁護センター(CAC)の職員として活動する可能性のある職専門職を対象として、MDT のあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指した。
従来の1日型研修に加え、今年度より、遠方からの受講者に配慮した2日型研修を創設した。
- ・日時 1日型：
令和2年 9月13日(日) 参加者：10名、オブザーバー1名
令和2年11月 8日(日) 参加者：12名
令和3年 3月28日(日) 参加者：10名
2日型：
令和2年7月11日(土)～12日(日) 参加者：1名
令和3年1月30日(土)～31日(日) 参加者：4名
計5回
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 診察室
- ・講師 理事長 山田 不二子
- ・対象者 前半講義のみ参加；子ども虐待に関わる全ての専門職種、各回定員14人
前半講義及び後半講義と実技参加； 医師、助産師、看護師等医療者および

MDT コア・メンバーとなる職種（児童福祉司、警察官、検察官、CAC 職員）、
各回定員 10 人

・参加者 各回 1～12 名（延べ 37 名）

④啓発事業

ア 学術集会

・内 容

第 23 回子ども虐待防止シンポジウム 学術集会

「児童相談所と警察の合同調査・捜査」をテーマとして、子ども虐待対応における児童相談所と警察の合同調査・捜査の重要性を研修する。当法人正会員の中から実行委員を選出して企画運営を行う。経理は「令和 2 年度子ども虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理するが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み令和 2 年度の開催を中止した。

・日 時

令和 2 年 12 月 5 日（土）

・場 所

ラジオ日本クリエイイト会議室（横浜市中区長者町 5 丁目 85 番地三共横浜ビル 3 階）

・従事者人員

12～15 人

・対 象 者

児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者
約 90 人

・海外招聘講師

Mark Snyder 氏（米国警察官）
Amy Bertrand 氏（CPS のソーシャルワーカー）

・日本人講師

未定
2～3 人

・従事者人員

12～15 人

イ パネル・ディスカッション

・内 容

第 23 回子ども虐待防止シンポジウム パネル・ディスカッション
新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、令和 2 年度の開催を中止した。

・日 時

令和 2 年 12 月 6 日（日）

・場 所

ラジオ日本クリエイイト会議室（横浜市中区長者町 5 丁目 85 番地三共横浜ビル 3 階）

・パネリスト

Mark Snyder 氏（米国警察官）
Amy Bertrand 氏（CPS ソーシャルワーカー）
他 1～2 人

・座 長

山田 不二子（CFJ 理事長）

・従事者人員

12～15 人

・対 象 者

児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者 約 90 人

ウ 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業

・内 容

神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育プログラムや各医療機関が独自に開発した SBS 予防

教育プログラム等を神奈川県内の医療機関に広める神奈川県の事業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図った。

- ・日 時 令和2年5月 1日(金) 16:00～19:00
令和2年5月22日(金) 16:00～17:30
(両日とも新型コロナウイルス対策のため、来年度に延期)
- ・場 所 美和レディースクリニック(大和市)等、新規参画医療機関を支援した。
- ・従業者人員 4～6人
- ・対象者 指導者研修:各病院産科病棟・新生児室の看護師・助産師

エ ニューズレターの発行

- ・内 容 令和2年度はニュースレターを発行しなかった。
- ・日 時 年0回
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 6～10人
- ・対象者 この法人の会員等、約300人

オ インターネット・ホームページの開設

- ・内 容 インターネット・ホームページを2002年4月に開設し、今年度も継続した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 1人

カ 一般社団法人日本子ども虐待防止学会第26回学術集会・いしかわ金沢大会 パネル展示

- ・内 容 一般社団法人日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)第26回学術集会・いしかわ金沢大会に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示した。
- ・日 時 令和2年11月28日(土)～29日(日)
- ・場 所 金沢歌劇座他
- ・従業者人員 3～5人
- ・対象者 JaSPCAN 第26回学術集会・いしかわ金沢大会の参加者

(2) 収益事業

① 電話相談事業

ア 虐待相談かながわ

- ・内 容 電話相談員養成講座を受講した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者等からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。
- ・日 時 通年、週2回(原則として月・水曜日) 午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所内 電話相談室
- ・従事者人員 各回2人

- ・対象者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等
各回0～4人、相談受理件数延べ128件

②研究・研修事業

ア 「虐待相談かながわ」 ケース・カンファレンス

- ・内容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設
- ・日時 月2回、原則として第一月曜日 午後3時～6時、第三水曜日午後6時～8時、ただし、司法面接・系統的全身診察が行われない場合は4時～6時
令和2年6月17日(水)、7月22日(水)、8月12日(水)、9月16日(水)
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講師 理事長 山田 不二子 (スーパーバイザー)
- ・従業者人員 2～3人
- ・対象者 この法人の電話相談員6～12人

イ ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・内容 通告義務者向けの聞き取り研修を招聘元に出向して実施した。
- ・日時 令和2年 7月29日(土)：京都府
 - ・招聘元：京都府家庭支援総合センター
 - ・場所：京都府家庭支援総合センター
 - ・参加者：40名
 令和2年 8月17日(月)、18日(火)、19日(水)：福岡県福岡市
 - ・招聘元：福岡県福岡市
 - ・場所：福岡市こども総合相談センター
 - ・参加者：8月17日(月)36名
8月18日(火)38名
8月19日(水)39名
 令和2年 8月22日(土)：千葉県千葉市
 - ・招聘元：NPO 法人千葉性暴力被害支援センターちさと
 - ・場所：千葉県弁護士会館
 - ・参加者：27名
 令和2年 8月29日(土)：大阪府尼崎市
 - ・招聘元：兵庫県立尼崎総合医療センター
 - ・場所：兵庫県立尼崎総合医療センター
 - ・参加者：30名
 令和2年10月10日(土)：富山県富山市
 - ・招聘元：NPO 法人ハッピーウーマンプロジェクト
 - ・場所：サンフォルテ富山307号室
 - ・参加者：26名
 令和2年10月24日(土)：愛知県名古屋市
 - ・招聘元：日本福祉大学
 - ・場所：ウインクあいち1203会議室

- ・参加者：30名
- 令和2年12月4日(土)：神奈川県横浜市
 - ・招聘元：神奈川県横浜市
 - ・場 所：横浜中央児童相談所
 - ・参加者：40名
- 令和2年12月9日(水)：東京都中野区
 - ・招聘元：日本司法支援センター（法テラス）本部
 - ・場 所：法テラス本部
 - ・参加者：16名
- 令和3年2月5日(金)：神奈川県伊勢原市
 - ・招聘元：神奈川県伊勢原市
 - 新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み開催を中止
- 令和3年2月7日(日)：山口県下関市
 - ・招聘元：チャイルドライン下関・こども家庭支援センター紙風船
 - 新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み開催を中止
- 令和3年2月20日(土)：群馬県
 - ・招聘元：群馬県
 - ・場 所：前橋赤十字病院 講堂
 - ・参加者：40名
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティ 各回3～4人
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参 加 者 各回16～40名（延べ362名）

ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst[®] 司法面接研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、GNCPTC（Gundersen National Child Protection Training Center）が開発した ChildFirst[®] 司法面接プロトコルを多機関連携チーム（MDT：Multidisciplinary Team）で構成された受講者に研修し、MDTの枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築した。
- ・日 時 令和2年12月23日(水)～27日(日)
- ・場 所 京都府警察本部・京都府家庭支援総合センター
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ（子どもの司法面接 NCPTC 認定トレーナー）7人
- ・対 象 者 各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
- ・参 加 者 20人

エ 出前型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、多機関連携チーム（MDT）を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官、子どもの権利擁護センター（CAC）職員等を対象として、MDTのあり方を研修するとともに、虐待被害

児の病態理解と診察技術の習得を目指した。

- ・日時及び場所 令和2年 8月 9日(日)
 - ・ 招聘元：さいたま市南部児童相談所
 - ・ 場 所：さいたま市子ども家庭総合センターあいぱれっと
 - ・ 参加者：29名
- 令和2年10月11日(日)
 - ・ 招聘元：新潟県医師会
 - ・ 場 所：長岡赤十字病院
 - ・ 参加者：40名
- 令和2年10月17日(土)
 - ・ 招聘元：横浜市中央児童相談所
 - ・ 場 所：横浜市中央児童相談所
 - ・ 参加者：47名
- 令和3年 3月 7日(日)
 - ・ 招聘元：北九州市立八幡病院
 - ・ 場 所：北九州市立八幡病院
 - ・ 参加者：20名
- ・ 講 師 理事長 山田 不二子
- ・ 従業者人員 1～3人
- ・ 対 象 者 招聘元が招集した参加者
- ・ 参 加 者 各回20～47名（延べ136名）

オ 『子どもの権利擁護センターかながわ』見学および研修

- ・ 内 容 『子どもの権利擁護センターかながわ』施設見学および研修
- ・ 日 時 令和2年 9月26日(土)
令和2年 9月30日(水)
令和2年12月 2日(水)
計3回
- ・ 場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階
- ・ 従業者人員 各回1～3人
- ・ 参 加 者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察 他

③ 専門家派遣事業

ア 講演会・講義等に対する講師派遣

- ・ 内 容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、当法人の役員や正会員を派遣した。
 - 港区立子ども家庭支援センター：令和2年度関係機関職員研修 講師
令和2年 7月 7日
 - 藤沢市教育委員会：藤沢市スクールカウンセラー等研修会 講師
令和2年 8月 4日
 - 兵庫県中央こども家庭センター：兵庫県児童福祉司任用後研修 講師

令和2年 8月27日、28日

浜松医科大学医学部付属病院：児童虐待に関する研修会 講師

令和2年 8月31日

名古屋掖済会病院：名古屋掖済会病院虐待等対応委員会講演会 講師

令和2年 9月14日

横浜市中央児童相談所：被害確認研修「面接者フォロー研修」 講師

令和2年10月19日

国立保健医療科学院：中堅職員研修・児童虐待防止研修 講師

令和2年11月12日

川崎市総合教育センター：スクールカウンセラー研修会 講師

令和2年11月17日

横須賀市こども育成部：赤ちゃんの泣きへの対応と SBS 予防について 講師

令和2年11月20日

横浜市中央児童相談所：被害確認研修「面接者フォロー研修」 講師

令和3年 1月25日

社会福祉法人 雲柱社：虐待予防研修 講師

令和3年 2月 9日

- ・場 所 招聘地
- ・講 師 この法人の役員または正会員
- ・従業者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が招集した参加者

イ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティを派遣する事業だが、令和2年度は行わなかった。
- ・日 時 派遣要請に応じて
- ・場 所 招聘地
- ・派 遣 者 この法人の ChildFirst Japan ファカルティ
- ・従業者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が関わっている虐待被害児や犯罪を目撃した児童

④ アナトミカル・ドール販売事業

- ・内 容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従業者人員 2～4人
- ・対 象 者 横浜市、名古屋地方検察庁

(3) その他の事業

①チャリティー事業

ア チャリティー・パーティー

- ・内 容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制の会食会を事業だが、令和2年度は、チャリティー・パーティーを行わなかった。
- ・日 時 0回
- ・従業者人員 0人
- ・対 象 者 この法人の会員